

Official trip report on ASEAN Design Selection 2017-18/Trade in Creative Industries

アセアンデザインセレクション 2017・18

出張報告書

国名と都市：ブルネイダルサラーム、バンダルセリブガワン

出張者：貿易投資部 上岡美智子貿易投資プロジェクトマネージャー（貿易）

リソースパーソン：株式会社オープンハウス 代表 益田文和審査員
公益財団法人日本デザイン振興会（JDP）津村真紀子事業部課長

相手国協力機関：ブルネイダルサラーム外務商業省（MOFAT）

出張期間：2018年2月26日-3月1日

● 事業趣旨

「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2017-18」は、日本アセアンセンターと日本デザイン振興会との連携によって、アセアンの零細中小企業におけるデザインスキル向上支援並びにアセアン各国の創造性豊かな企業の国際展開を支援することを目的に実施している。これまで両者は、「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2003-05」「グッドデザイン・メコンセレクション 2014-15」を実施してきた。

● 訪問内容

グッドデザイン・アセアンセレクション 2017-18」の「推薦候補の選考」にあたっては、これまでの事業経験を生かし、（1）デザインの考え方を理解し共有する「デザインセミナー」、（2）日本のデザイナーと対話する「ワンポイントアドバイス」、さらには、（3）グッドデザイン賞応募に向けてのポイントを共有する「企業訪問」の3つのメニューで実施することとした。事業はアセアン各国で実施されるため、このプロセスを日本アセアンセンターは以下のように統一した。

- ・ 1日目：デザインセミナーとワンポイントアドバイス
- ・ 2日目：企業訪問と推薦候補選び
- ・ 3日目：現地主催者への報告と意見交換

● ブルネイダルサラーム

場所：外務貿易省会議室、バンダルセリブガワン

参加者： 31名

候補企業数：15企業

訪問企業数：5企業

● 第一審査結果

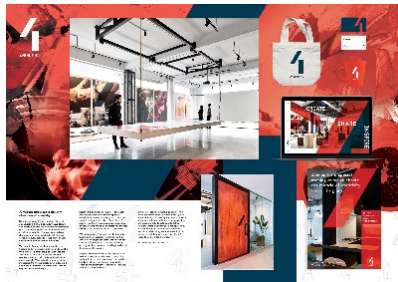
合格：4企業



ホコー社 HOCO

評価ポイント：ビジネスモデル

HOCO は、スタディオスペースブランディングのプロデュースやソフト開発を手がけるクリエイター集団。ブランド名は地名でもある“アベニュー41”(Avenue 41)。 イベント、展示、ライブなどマルチパーパスに対応するビルをプロデュースし、レンタルスペース運営を行う。稼働式のテーブルが、上下することにより空間スペースが変化し、演劇、演奏、クッキング等、自分を表現したい集団がオープンキャンバスを描くように用途に対応している。Avenue41 はアーティストの情報発信の場として活用されることで、ブルネイ



社会にパッションとスピリットを吹き込むことを目指し、ブルネイ企業をインスパイアすることを目的としている点、また、利益の 4.1%を NGO や企業に還元し、デザイナー及びアーティストを志す若者が、このファンドを使ってスタートアップのチャンスを掴めることを目的として無料で貸出を行っている点を評価。

マインドプラス Mind Plus

評価ポイント：ビジネスモデル、ソフトウェア

総合的な教育の枠組みの中で開発されたイスラミック教育ソリューションとしてのデジタルコンテンツ及び紙媒体(テキスト)。 5 ~ 12 歳を対象にイスラミック協会監修のもとに高等教育専門家と共同開発されたソフトであり、2016年リリース後、ブルネイダルサラーム及びインドネシア



で 72,000 人のユーザーに普及している。プログラムの利用は無料であるが、システムをグローバルモスリムマーケットに販売している。モバイルでアクセス可能なオンラインツールは、どこでも誰でも簡単に入手可能で、初級から上級レベルアップさせる構成になっており、ノンモスリムにとってもクイズ感覚でイスラム文化を学べる点を評価。将来的には AI を取り入れたソフト開発を目指している。

バティック・デスマス Batik DESMAS

評価ポイント：プロダクト

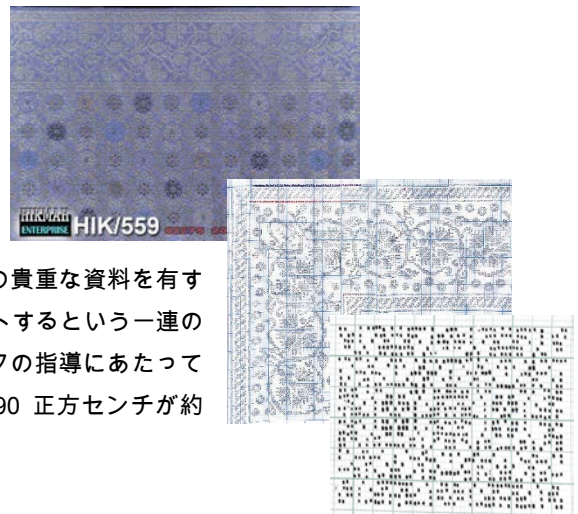
ブルネイ国産天然染めコットンを定価で人々に供給をしている企業。2000 年創立後、マレーシア、インドネシア、2 m x 115cm の反物で約 5,000 円から 10,000 円。ブルネイの森林にある天然資源、すなわちマンゴ、スターフルーツなどの果実、草花、樹皮と根、種等で真っ白なコットンに型押ししていくバティックに仕上げた。ブルネイ伝統紋様を尊重し、モダンデザインも取り入れながら天然素材による定価な商品を開発したことを評価。



ヒクマ・エンタープライズ HIKUMAH Enterprise

評価ポイント：プロダクト

1991年創業のブルネイ伝統織物を供給する企業。特に、祭事に着用する正装用の織物を供給する。王室のロイヤルウェディング、行事式典には王族が来店しオーダーするという。一度用いた図案は、二度使用しないというルールがあり、受注したすべてのデザイン画を記録保存している。ブルネイの伝統工芸の貴重な資料を有する点、または受注後、デザイン図案創作、織機にセットするという一連の工程を、次世代に継承するため、ブルネイ人スタッフの指導にあたっていている点を評価。受注から完成までに何ヶ月も要し、90 正方センチが約 60,000 円である。



- 益田文和審査員からの所感：

ブルネイという国の特徴がよく表れた審査であったと思う。審査会には驚くほど素朴な手作りの道具類や個人の趣味の域を出ない手芸品などと、かなり高度な技術と高い美意識、完成度を持った伝統的な工芸品が入り混じって、しかも誰も奢ることも臆することもなくあっけらかんとしている。誰もが違うことを前提にしながらお互いを認め合う。デザインの評価基準にどこまで多様性が取り込めるだろうか？我々は今チャレンジを受けていることを肌身で感じる。選ばれた作品の中にも飛び切りの変わり種が含まれている。

- 津村真紀子氏からの所感：

予定されていた候補者数より多くの参加があり、特に HOCO や Mind Plus のように若者が立上げた新企業の出現は歓迎できた。彼らは国の将来の方向性を模索しており、自分たちが何とかしなければという意識が高い。英語でのコミュニケーション能力の高さと、海外留学経験のある国民が多いことから、ヒューマンポテンシャルは高いと思われる。サービス分野で若い世代のさらなる活躍が期待できそうだ。一方で、先細りの恐れがある伝統的な織物産業を懸命に存続させたいと思う若者もあり、ブルネイのデザインの発展は、新旧の業種が両輪となって担っていくのであろうと感じた。

- 全体の総論：

ブルネイ外務貿易省（MOFAT）並びにブルネイの零細・中小企業機構の Darussalam Enterprise (DARe)の協力を得て、アセアンデザインセレクション賞にはブルネイの伝統を守る老舗企業並びに新規スタートアップした企業から 15 社の応募があった。また、15 社を含む 31 人がセミナーに参加し、益田審査員並びに津村 JDP 職員のセミナーを熱心に聴講していた。アンケートを実施した 95%の回答者が商品開発におけるデザインイノベーション等のヒントを得るなど参加目的を達成した。



了